

12718  
407

檄

時代は陰密の間に逼迫し行き、今や世紀末の雲行は吾々の眼に鮮やかである。

此時に當り吾々は、將に如何なる時局を迎ふるに不拘、咄嗟の間に臨機應變の策に出得べく、充分の用意が無くてならぬ。

吾々は常に鈍らず、而も敢て焦らず、階級戦の前線を踏み進まなければならぬ。

斯くて吾々数名の同志は、爰に相計つて新たに「闘士會」なるものを組織し、別紙の如き主義を宣明し、會則を規定した。

フロレタリア闘士諸君、乞ふ俱に計り共に戦ふべく、奮つて参加せよ。

大正十二年四月下旬

「闘士會」發起者一同

東京市牛込區原町一丁目五十八番地

發起世話人 野口 一雄